

新規申請書類リスト及びチェック項目

◎保健師修学資金

- 貸付申請書（第1号様式）※全員必須
 - 必要事項を記載しているか。（チェック項目は次のページ参照）
- 推薦状（第2号様式）※全員必須 ※養成施設記載
 - 県外養成施設は厳封のため養成施設にてチェックが必要です。**
 - 養成施設名・在学年・氏名が記載されているか。
 - 席次・推薦順位を記載されているか。
→必ず記載が必要です。記載されていない場合、選考に支障が出ます。
 - 学科の成績を記載しているか。
→必ず記載してください。ただし、養成施設の運用上、成績を開示できない場合は、その旨を余白に記載し、成績状況についても併せて記載してください（良好等）。
 - （該当がある場合）臨床実習の評価を記載しているか。
 - 自主性等の性行について、評価が記載されているか。
→A・B・Cで評価、記載してください（A:優れている、B:普通、C:物足りない）
 - 人物の総評、推薦の参考事項の欄に、「保健師課程（コース）に在籍中である旨」が記載されているか。
→必ず記載が必要です。記載されていない場合、決定出来ないことがあります。
 - 日付が記載されているか。
 - 2年生以上の学生の場合は、前年の学年の成績証明書を添付しているか。
- 保健師養成課程在籍証明書 ※全員必須
 - 氏名、養成施設名、学部・学科名が記載されているか。
 - 令和8年度の学年が記載されているか。
 - 保健師養成課程の在籍開始時期が記載されているか。
 - 証明年月日、養成施設名、養成施設長名が記載され、押印がなされているか。
- 就業希望先確認シート ※全員必須
 - 日付、養成施設名、氏名、フリガナを記載しているか。
 - 第1希望から第3希望までの就業希望先と希望する理由を記載しているか。
→可能な限り第3希望まで記載してください。
- 申請者の住民票の写し ※全員必須
 - コピーではなく、原本を添付しているか。
 - 氏名、現住所、本籍地、世帯主、生年月日が記載されているか。
→申請書に記載の内容と齟齬がないようにしてください。
 - 個人番号（マイナンバー）は記載されていないか。
→個人番号は不要です。記載がある場合は再取得してください。
 - 提出日前3か月以内に発行されたものか。
→提出日より3か月を超えて発行されたものは無効となりますので、再取得してください。
 - 申請者を含む世帯全員が住民税非課税又は均等割りのみ課税されていて、課税証明書を提出する場合は、世帯全員の住民票となっているか。
また、申請書の「家族の状況」と一致した世帯全員の住民票となっているか。
→同居していなくても、仕送り等で生計を一にする場合は同一世帯とみなしますので、同居していない者についても提出が必要です。

※以下、該当する場合のみ提出必要

- 申請者を含む世帯全員の市町村民税課税（非課税）証明書
 - 申請者を含む世帯全員が「住民税が非課税又は均等割りのみ課税」に該当するか。
 - コピーではなく、原本か。
 - 住民票の写しと一致する人物全員の証明書があるか。
※ただし、16歳未満の者については不要です。
→同居していなくても、仕送り等で生計を一にする場合は同一世帯とみなしますので、同居していない者についても提出が必要です。
 - 前年度の証明書となっているか。
→令和8年度の申請をする場合は、令和7年度の証明書（令和6年1月～12月までの所得金額）となります。前年度分の証明書で決定します。
 - 提出日前3か月以内に発行されたものか。
→提出日より3か月を超えて発行されたものは無効となりますので、再取得をしてください。
 - 違う証明書類ではないか。（確定申告時の書類等）
→課税（非課税）証明書以外の書類での代用は受け付けておりません。
必ず課税（非課税）証明書で提出してください。
- 大規模災害に被災したことを証明する書類
 - 罹災証明書等が添付されているか。（写し可）
- 委任状 ※県内養成施設在学者のみ
 - 必要事項が記載されているか。

貸付申請書チェック項目

【表面】

- 提出日を記載しているか。
- 養成施設名を記載しているか。
- 氏名の上にフリガナを記載しているか。
- 入学年月に間違いはないか。
- 在学年に間違いはないか。
- 現在や今まで神奈川県看護師等修学資金貸付金を借りていた場合は、前修学生番号を記載しているか。
- 修学資金の種類に○をしているか。
- 住所は住民票の住所となっているか。
→現住所が異なる場合は、空いてるスペースに現住所を記載してください。
- 自宅の電話番号、昼間の連絡先を記載しているか。
→自宅に固定電話番号がない場合は、連絡のつく電話番号を記載してください。
- 中学校から現在までの履歴が記載されているか。
- 健康状況について記載しているか。
- 卒業後の就業希望先を記載しているか。
- 生計を一にする家族の状況を記載しているか。
→「続き柄」は申請者本人から見ての続柄となります。

【裏面】

- 連帯保証人を2名記載しているか。
→連帯保証人は2名必ず必要です。2名立てられない場合は申請できません。
→独立した生計を営み、それぞれが別生計である必要があります。
(×同一世帯の父と母)
- 生年月日が記載されているか。
- 住所や電話番号の連絡先がすべて記載されているか。
- 勤務先がある場合は、記載されているか。
→年金収入の場合は、勤務先欄に年金と記載してください。
- 年収が記載されているか。
→年金収入等、給与収入以外でも収入がある場合は必ず記載してください。
独立した生計を営む方を連帯保証人の要件としていますので、収入が0円の場合は連帯保証人として立てることはできません。